

# 週間タイル NEWS

株式会社サンワ 定期発行

図 1



図 2



※左記の図 1 は外壁にタイルが貼っている写真。図 2 は、コンクリートが打ちっぱなしの写真になります。

## タイルの良さを見てみよう

### ① 断熱性の高さ

タイルの良さを語るにあたっては、デザイン性はもちろんですが、タイルを使用することでうまれる機能性も外すことができません。

今日はタイルのその特徴の一部を説明していきましょう。  
最近だとタイル貼りされている建物とコンクリートの打ちっぱなしの建物があったりしますよね。この 2 つの建物で見てみましょう。

結論からいうとタイル外壁は“省エネ性能”が高いです。

ここで 2 つを熱伝導率で比較しました。

磁器質タイル 1.0～1.3 (W/mK)

コンクリート 1.5～1.9 (W/mK)

ここで注目してほしいのはタイルの方が、数値が低いということです。

タイルのように熱伝導率が低いものは熱がゆっくり伝わる為、外気の熱の侵入を抑えることができます。その為、室温が安定しやすいのです。

逆にコンクリートのように熱伝導率が高いものは熱が早く伝わる為、外の暑さ・寒さが室内に伝わりやすくなります。その為、夏は暑く、冬は冷えやすいという環境になる為、暖房や冷房を多用してしまいます。

## ピックアップ

熱伝導性(W/MK)とは

熱伝導率とは熱の伝わりやすさを示す数字で、数値が小さいほど熱を伝えにくい＝断熱性が高いという意味です。

「1m の厚さの材料に 1℃の温度差があるとき、どれだけ熱が流れるかを示しています。

タイルはコンクリートより熱を通しにくい素材なので、外壁に使うことで建物の温度変化を抑え、省エネ性にも貢献します。

改めてお伝えしますと

タイルは熱伝導率がコンクリートより低いため、外壁に貼ると熱が建物内に伝わりにくくなり、室内の温度安定に大きな役割を持っています。

簡単にまとめますと

タイルの特徴として

夏 → 外の熱が室内に入りにくい

冬 → 蓄熱して暖房効率 UP

結果 → 省エネ&快適性向上へと繋がっているのです。

## 物の価値を知ること

今回は単純にタイルとコンクリートで比較してみました。実際はタイルに関しては、その他にも貼り付ける際の断熱材などがありますので、総合的に見ても断熱性はかなり高いです。

タイルは四季のある日本で快適に過ごすことができる商品なんです。デザイン性だけでなく、その魅力を少しでも感じていただけたら幸いです。